

介護施設における労働災害の防止について

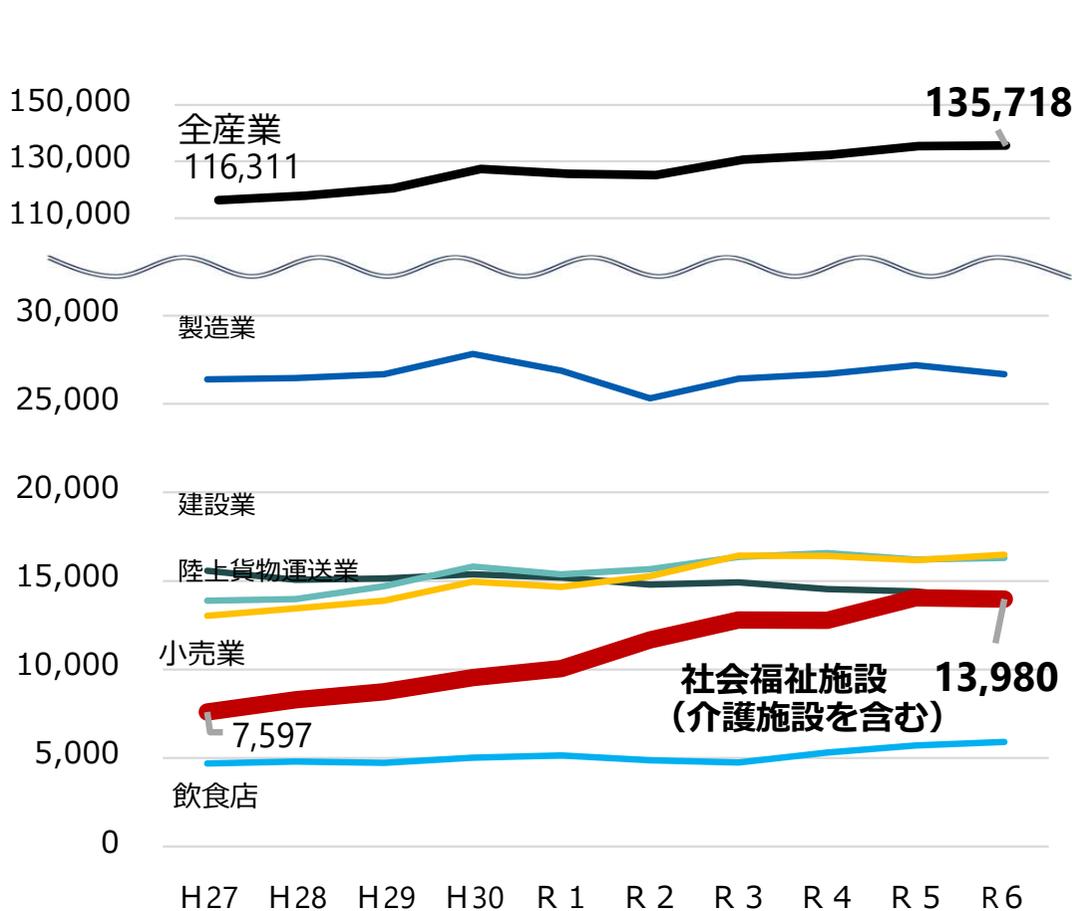
令和7年度全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課

介護施設等における労働災害等の状況①

介護施設を含む社会福祉施設（以下「介護施設等」という。）における労働災害は著しく増加しており、その要因としては、介護サービスの需要増大を背景として労働者数が増大していることが挙げられる。近年労働災害の発生率も増大しており、労働災害の発生率は工業的業種である製造業と比べても高くなっている。

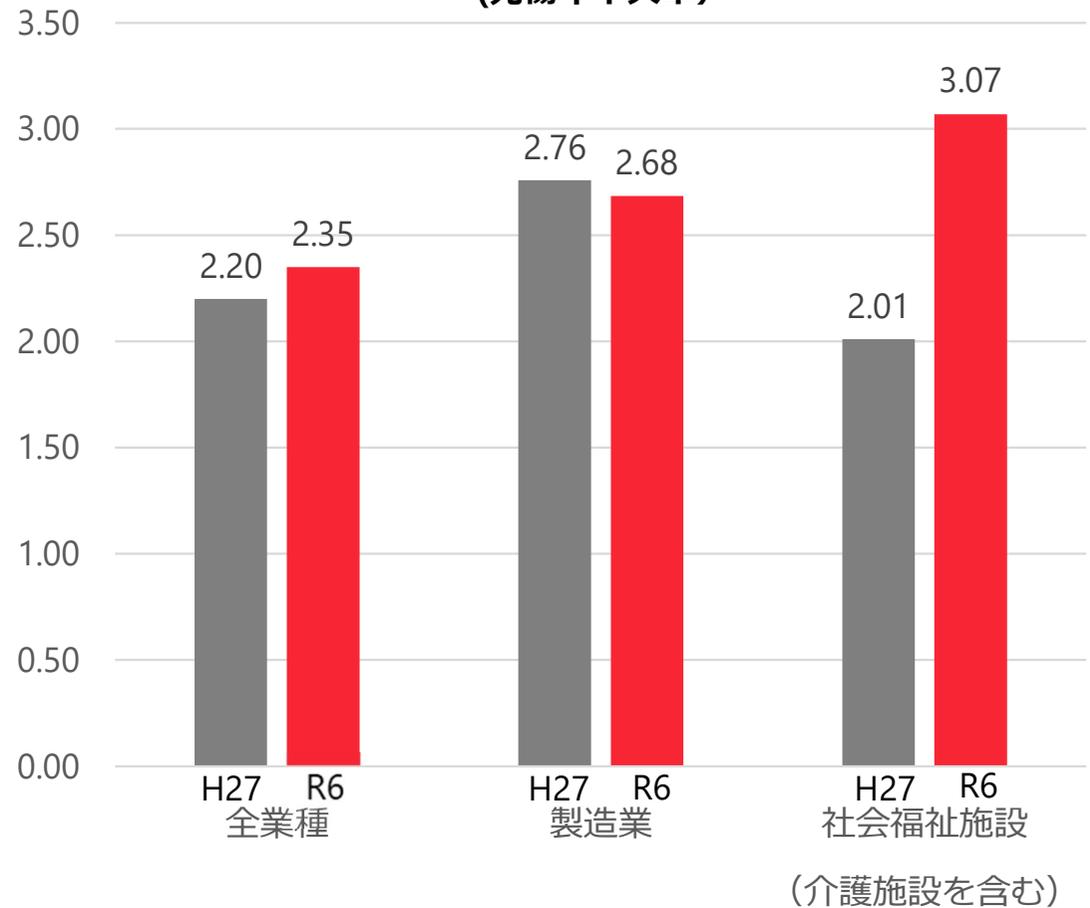
業種別の休業4日以上の労働災害の推移



データ出所：労働力調査（総務省）（年齢階級、産業別雇用者数）における年齢別雇用者数（役員を含む）

データ出所：労働者死傷病報告 ※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く

労働災害の発生率 (死傷年千人率)



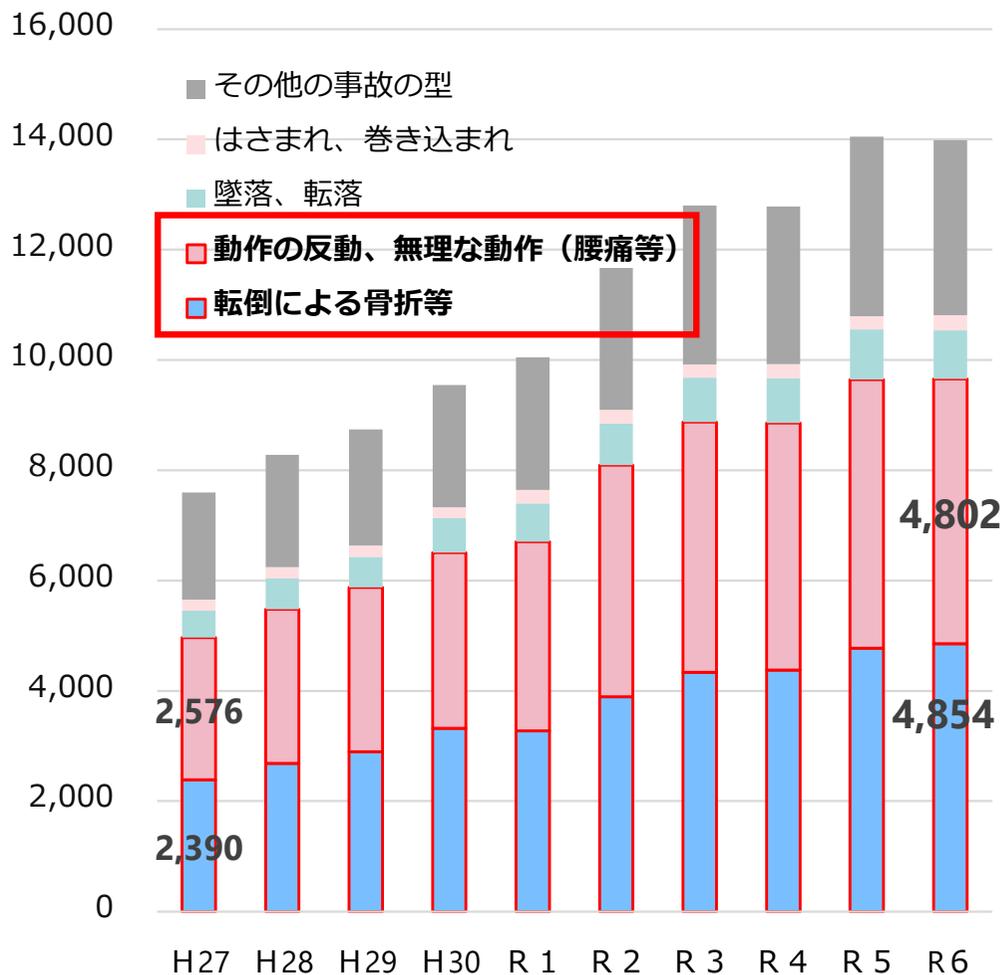
データ出所：労働者死傷病報告（令和6年）

※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く
労働力調査（年次 2024年 II - I 表 役員を除く雇用者）

介護施設等における労働災害等の状況②

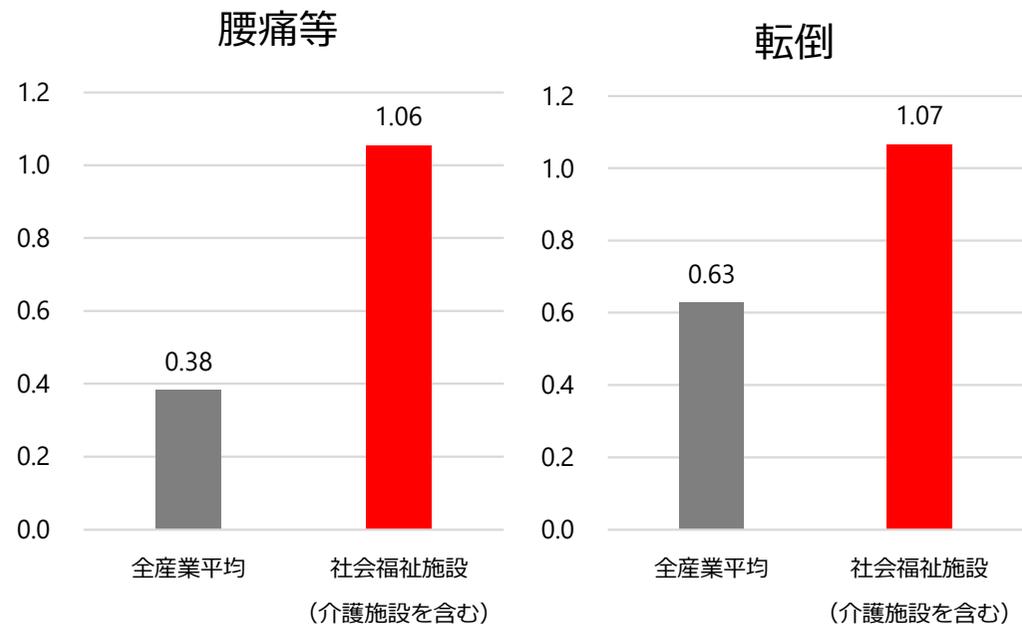
腰痛や転倒による労働災害の発生率が高くなっている。また、このような業界では事業者の義務となっている雇入れ時の安全衛生教育の実施率が低調である。

介護施設等における休業4日以上の労働災害の推移



データ出所：労働者死傷病報告 ※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く

介護施設等における腰痛・転倒による労働災害の発生率（令和6年）



発生率=労働者1000人あたりの労働災害発生件数
 データ出所：労働者死傷病報告（令和6年）
 ※新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く
 労働力調査（年次 2024年 II-I表 役員を除く雇用者）

雇入れ時教育の実施率

医療・福祉業(介護施設を含む)：42.0%

データ出所：令和6年労働安全衛生調査
 (実態調査) 事業所票 第16表

介護施設等における労働災害防止対策の推進（お願い）

事業者に対する指導監督等の機会を通じ、労働災害防止のための資料の周知等に御協力いただきたい。

- ・労働者の腰痛の予防や転倒による骨折等の防止のためのリーフレット等
- ・新規就労者に対する雇入れ時の安全衛生教育の実施促進のための支援ツール等（中央労働災害防止協会：<https://www.jisha.or.jp/info/field/oshms/about06.html>）

【腰痛等の予防】

腰痛で苦しんでいる介護職場のみなさまへ

介護者の腰痛予防のための安全衛生活動チェックポイント

安全衛生活動を見直すことで
介護者の腰痛を予防できる
ことがあります。



このチェックポイントは安全衛生活動を進めることにより介護者の腰痛を予防するお手伝いをします。

独立行政法人 労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所

URL：
https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/houkoku/careworker_checkpoint.pdf



【労働者の転倒による骨折等の防止】

介護労働者の転倒災害（業務中の転倒による重傷）を防止しましょう

50歳以上を中心に、転倒による骨折等の労働災害が増加し続けています。事業者は労働者の転倒災害防止のための措置を講じなければなりません。

「つまずき」等による転倒災害の原因と対策

- 何もないところでつまずいて転倒、足がもつれて転倒
 - 転倒や怪我をしにくい身体づくりのための運動プログラム等の導入（※）
 - ※足元・姿勢先での視覚等による転倒防止の注意喚起
- 通路の段差につまずいて転倒
 - 事業場内の段差の解消（※）、「見える化」
 - ※足元・姿勢先での視覚等による転倒防止の注意喚起
- 設備、家具などに足を引っかけた転倒
 - 設備、家具等の角の「見える化」
- 利用者の車椅子、シルバーカー、杖などにつまずいて転倒
 - 介護のあとには一呼吸置いてからの作業へ
- 作業場や通路以外の障害物（車止めなど）につまずいて転倒
 - 歩行・通道の確保
 - 敷地が狭い車止めの「見える化」
- コードなどにつまずいて転倒
 - 労働者や利用者の転倒原因とならぬよう、電気コード等の引き回しのルールを設定し、労働者に徹底させる

「滑り」による転倒災害の原因と対策

- 凍結した通路等で滑って転倒
 - 従業員用靴の検査・適合、凍結しやすい箇所には防滑マットを設置する（※）
- 浴室等の水場で滑って転倒
 - 防滑マットの導入、設置している場合は施工し直す（※）
 - ※滑りにくい履き物を使用させる
 - ※浴室等換気システムで室温を一定に保つ（※）
- こぼれていた水、洗剤、油等（人為的なもの）により滑って転倒
 - 水、洗剤、油等がこぼれていることのない状態を維持する
 - （清掃作業の完了後、清掃機などで水を拭き取る等の対策を行う）
- 雨で濡れた通路等で滑って転倒
 - 雨天時に歩行・通道の確保、歩行・通道の確保
 - ※足元・姿勢先での視覚等による転倒防止の注意喚起

（※）については、高齢者労働者の転倒災害防止のため、中小企業事業者は「エイタフレンドリー補助金」（補助率1/2、上限100万円）を利用できます。中小事業者は、無料で安全衛生の専門家のアドバイスが受けられます。

職場で転倒して骨折（転倒災害）

社会福祉施設での転倒災害は増加の一途

性別・年齢別内訳（令和5年）

性別	割合
60歳以上女性	46%
50歳以上女性	72%
50代女性	26%
40代女性	10%
30代女性	5%

社会福祉施設での転倒災害による平均休業日数（令和5年）
46.1日
※労働者健康統計による休業日数

転倒リスク・骨折リスク

- 加齢とともにすべての人が、転びやすくなります
 - ✔ いますぐ「転びの予防 体力チェック」
- 特に女性は加齢とともに骨折のリスクも著しく増大します
 - ✔ 対象者に市町村が実施する「骨粗鬆症検診」を受診させましょう
- 骨粗鬆症予防も一緒に！「骨活のすすめ」

URL：
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000111055.html>



【安全衛生教育の動画教材】

不安定な状態の解消



水の落ちやすいところの近くに用具を置きましょう

労働者の雇入れ時教育
動画はこちらから



管理者（施設長等）向けの動画もあります。

